

■「info.Core PRESS」創刊のご挨拶

総合メディア基盤センター広報委員長 笠原 慎也

現在、社会には怒涛のように情報があふれ、新しい情報機器が続々生まれています。大学も例外ではなく、高い教育・研究レベルの維持には、ITの進化を常にキャッチアップする必要があります。一方、情報社会の負の産物であるコンピュータウィルスの蔓延、個人情報流出などの社会的損失も年々増大し、我々はこれらへの防御力も養わねばなりません。



このような背景のもと、総合メディア基盤センターは、情報教育やIT教材を用いたe-Learningを推進する情報教育部門、学内の多様な学術情報のデータベース化と利用環境の整備に取り組む学術情報部門、悪意あるネットワーク攻撃を防ぎ、本学の情報インフラを支える情報基盤部門の3部門が互いに協調、また切磋琢磨しながら運営しています。

このたび総合メディア基盤センターでは、リーフレット「info.Core PRESS」を刊行することになりました。「info.Core PRESS」では3ヶ月に1度、当センターのサービスや新しい取り組み、最新のIT動向などを紹介します。当冊子が学内IT情報誌として浸透し、当センターが皆様のより身近な存在になるよう、スタッフ一同奮起して参りますので、ご支援どうぞよろしくお願いいたします。

■センターのWebサイトがリニューアル!

2005年8月、総合メディア基盤センターのWebサイトをリニューアルしました。今後さらにコンテンツを充実し、必要情報がすぐわかる使いやすいサイトをめざします。ぜひご利用ください。

※ 現在、新サイトで参照できない情報は、旧トップページより参照ください。旧トップページは、画面右上の「旧サイトへ」のアイコンから閲覧できます。

K.U.-I.M.C.
INFORMATION MEDIA CENTER OF KANAZAWA UNIVERSITY



〒920-1192 石川県金沢市角間町
Tel: 076-234-6910 Fax: 076-234-6918
e-mail: jimu@imc.kanazawa-u.ac.jp
URL: <http://www.gipc.kanazawa-u.ac.jp>

info. Core PRESS

No. 01

2005

10

October

CONTENTS :

創刊のご挨拶

リニューアル! センターWEBサイト

—— 情報教育部門より

e-Learning WORLD 2005へ出席

—— 学術情報部門より

学内の各種情報の電子化・データベース化を議論

第4回「金沢大学データベースフォーラム」

—— 情報基盤部門より

KAINS 整備状況 ~ ATM 廃止と学外者用無線ネットワークへ

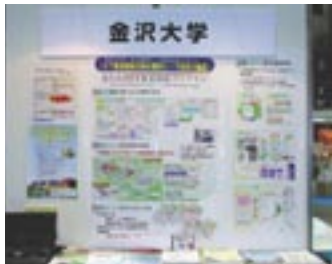
第3回「金沢大学ネットワーク研究会」

金沢大学総合メディア基盤センター
情報誌

情報教育部門より

■ e-Learning WORLD 2005 へ出展

平成 17 年 7 月 20 日 (水) ~ 22 日 (金) に東京有明ビッグサイトにおいて開催された『e-Learning WORLD 2005』に参加しました。今年は新たに、フジサンケイ ビジネスアイ (日本工業新聞社) の特設ブースが設けられ、現代 GP に採択されている日本の 15 大学から 12 校の取組みと、e-Learning が進んでいるドイツの 5 大学の取組みについて、概要のポスター展示と口頭発表が行われました。本学からは、IT 教材用素材のデータベース化と、素材を利用したカスタマイズ教材の作成方法、さらに、IT 教材作成支援室を発足させたことを中心に発表しました。このほか、成果物として基礎物理学や情報基礎教材、本学 HP において現在実施中の e-Learning 教材、その他のオリジナル教科書や講義ノートも展示しました。



本学展示ブースには連日、e-Learning の導入や推進を考えている各大学の教員、企業の方々を訪れました。その中に本学の取組みが進んでいるという評判を聞かれた方も多く、参加した本学スタッフ全員が驚かされました。企業の方々には学生の学力の現状などはあまり知られておらず、「大学教育における e-Learning がなぜ必要なのか」という声も数多くありました。一方で「社員教育などにこういった教材があれば良いのに」という話をされる方もいました。22 日にはステージプログラム D・文部科学省平成 16 年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム—テーマ 6」において、「オーダーメイド IT 教材の開発」の発表を行いました。発表は、多数の立ち見ができるほどの盛況ぶりです。大学などの高等教育機関における e-Learning や IT 教育への関心の高さを実感させられました。

<http://www.el.kanazawa-u.ac.jp/NHP/takouen.html#t720>

<http://www.el.kanazawa-u.ac.jp/NHP/elw2005.html>

学術情報部門より

■ 学内の各種情報の電子化・データベース化を議論

— 第 4 回「金沢大学データベースフォーラム」 —

学術情報部門が主催する第 4 回「金沢大学データベースフォーラム」が 9 月 2 日に開催されました。

同フォーラムには学内外から 50 名余りの参加があり、情報・システム研究機構 統計数理研究所の樋口知之教授による「ベイズモデルによる異種情報の統合：ゲノムから地球環境まで」と題する招待講演をはじめ、山崎光悦学長補佐による特別講演「金沢大学総合データベース開発計画」など計 7 件の講演が行われ、活発な意見交換がなされました。

<http://www-db.gipc.kanazawa-u.ac.jp/db-ken>



樋口教授の講演 (総合メディア基盤センタープレゼンテーション室)

■ 「金沢大学データベース研究会」 会員募集中！

学術情報部門では、学内の各種情報の電子化・データベース化の推進と、その利活用法を議論する「金沢大学データベース研究会」を立上げ、定期的に研究フォーラム(“金沢大学データベースフォーラム”)を開催しています。同研究会では、フォーラム開催情報や、データベース構築・利用に関する学内教職員間の情報交換を目的としたメーリングリストを運用中です。メーリングリストへの登録を希望される方は、データベース研究会事務局 (db-admin@gipc.kanazawa-u.ac.jp) までご連絡ください。

情報基盤部門より

■ KAINS 整備状況

— ATM ネットワークの廃止

永らく KAINS の基盤を支えてきた ATM ネットワークが、全面的に廃止されることとなった。ATM ネットワークは 1996 年に全学的に配備されたが、経年変化により設備が老朽化し、かつ補修部品の確保が困難となったため、全面的な廃止に踏み切った。今後、KAINS の基盤は光ケーブル主体のギガビットネットワークによる運用となる。

— 学外者用無線ネットワークの整備

金沢大学で開催される学会の参加者など、学外からの来訪者がネットワークを利用できる環境を整備中である。これは、学内に配備した無線ネットワークを VLAN により一般 ISP の回線と結び、学内の無線アクセスポイントを利用しつつも、学内ネットワークとは完全に分離されたネットワーク接続を実現するものであり、接続時のユーザ認証に対応している。各部署にアクセスポイントの設置希望を募り、全学的に利用可能な環境を目指す。

■ 全学的な情報共有と認証に関する将来計画を議論

— 第 3 回「金沢大学ネットワーク研究会」 —

9 月 20 日、総合メディア基盤センター情報基盤部門主催による、『第 3 回金沢大学ネットワーク研究会』が、全学的な情報共有と単一 ID 認証をテーマに開催された。学内の様々な部局より、20 人の参加者があった。

